



SOS 見守りネットワーク連絡会報 第 23 号

認知症の方本人の視点の重視

まだまだ寒い日が続いております。みなさまはいかがお過ごしでしょうか。

本市の取り組みとして、昨年 1 月 1 月から 1 月にかけて、「認知症本人の意志を引き出すためのアクションミーティング～本人の声を活かす地域支援・地域づくりにむけて～」を全 3 回開催しました。アクションミーティングとは認知症の本人が、よりよく暮らしていけるように、取り組めそうな活動(アクション)について、話し合うものです。地域包括支援センター、認知症初期集中支援チーム、認知症カフェ関係者等にお集まりいただき、本人の声を聞くことについて話し合い、普段の活動について等意見交換をしました。

「私たちはそもそも普段どれくらい本人の声に耳を傾けているだろうか。」

「知らず知らずのうちに本人が声を発しづらい雰囲気をつくってはいないだろうか？」

「当事者・支援者という言葉自体、関係性を築く上で妨げとなってはいないだろうか？」

私たちの視点をまず見つめ直し、少しずつ発見が生まれてきました。この事業はまだ開始して間もない事業です。こちらの動向についても今後会報等でお伝えできればと思います。

郡山市ウェブサイト「認知症について」URL：
<http://www.city.koriyama.fukushima.jp/213200/houkatu-nintisvou.html>

お問い合わせ 連絡会事務局

郡山市地域包括ケア推進課

電話：924-3561

メールアドレス：

hokatucare@city.koriyama.fukushima.jp

※会報は定期発行しています。

※加盟団体数 99 (2月23日時点)

SOS 見守りネットワーク連絡会議を開催しました

1 月 26 日連絡会加盟団体のみなさまにお集まりいただき、平成 29 年度第 2 回郡山市認知症高齢者 SOS 見守りネットワーク連絡会議を開催しました。会議では、昨年 11 月に熱海町で開催した搜索模擬訓練の実施状況について報告し、講評いただきました。また、加盟団体の活動状況についても御報告いただき、本ネットワークの繋がりを広げていけるよう情報共有をしました。

なお、会議の中で、搜索模擬訓練の検証から FAX での顔写真の情報配信は黒塗りで映ってしまい、見えないことから、今後 FAX による行方不明の情報配信の場合、写真は配信しないこととなりました。

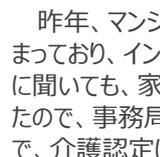
加盟団体の活動状況について

東北電力 郡山営業所 ～鈴木様より～



電気メーターの検針のためにお宅に訪問させていただいた際に、給湯器の水漏れがあり、ポストには郵便物が溜り、家の中は照明がついていて、インターホンで呼び出しても応答がない状況でした。事務局へ連絡し、ご確認いただいた結果、現在サービス付き高齢者住宅に入居されることが分かり一安心したという事例でした。検針の作業、電気設備の点検等で外出する機会等で見守り活動を続けていきたいと思っております。

毎日民報郡山店主会加盟店 ～古川様より～



昨年、マンションに住む方のポストに数日分の新聞が溜まっており、インターホンを鳴らしましたが、応答がなく、両隣に聞いても、家族や親族の身元が分からないということで、事務局へ連絡しました。事務局により、一人暮らしで、介護認定は受けていないことが分かり、担当の地域包括支援センターと民生委員の協力で本人は病院に入院していることが確認できた、ということがございました。

郡山市消費生活センターからのお知らせ

「高齢者支援センター」などと称する事業者からの電話に注意！

個人情報情報が漏れて別の団体等に登録されているなどとして、個人情報の登録の取消しを持ちかけ、最終的に、現金を宅配便で送付させる手口に係る相談が、全国の消費生活センターに寄せられています。典型的な詐欺の手口ですので、取り合わず、すぐに電話を切ることが大切です。不安を感じたり対処に困ったりした場合には郡山市消費生活センターに相談するようお願いいたします。

郡山市消費生活センター 電話：921-0333